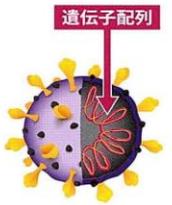
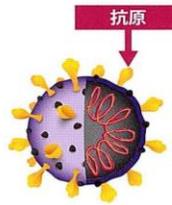
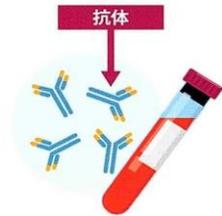


## 『新型コロナウイルス感染症の検査について』

しもじ内科クリニック院長  
下地 栄壮



新型コロナウイルス感染の拡大が続く中、福岡県にも4回目の緊急事態宣言が出されました。今後、“ウィズ(with)コロナ”の生活が避けられないと考えられるため、各種検査の目的を理解することが必要です。現在行われている検査についてご紹介します。

	PCR検査	抗原検査	抗体検査
検出するもの	ウイルスが持っている特徴的な遺伝子配列 	ウイルスが持っている特徴的なタンパク質(抗原) 	ウイルスに感染した場合に、免疫系が働いて作られる抗体 
検体	鼻咽頭ぬぐい液、唾液 		血液 
検査で分かること	検査時点でウイルスに感染しているかどうか		これまでにウイルスに感染したことがあるかどうか

『Abbott 検査ガイドブックより抜粋』

### 【PCR 検査について】

PCRはPolymerase Chain Reaction(ポリメラーゼ連鎖反応)の略で、ウイルスの遺伝子を増幅して検出する方法です。唾液と鼻咽頭ぬぐい液を用いてする方法があり、発症から9日以内であれば両方で差がないと報告されています。PCR検査は、検査時点での感染の有無を判定します。PCR検査の感度(新型コロナウイルス感染症の方でPCR検査が陽性となる割合)は高く70%程度と考えられており、PCR検査が陰性でも新型コロナウイルス感染症ではないと言い切れないことがあります。

### 【抗原検査について】

抗原検査は、鼻咽頭ぬぐい液や唾液を用いてウイルスの表面にある特徴的なタンパク質(抗原)を調べる検査です。抗原検査も検査時点での感染の有無を判定します。鼻咽頭ぬぐい液を用いる場合、検査キットで簡便で早期に結果が判明する利点がありますが、現時点では検出感度に問題が残ります。また、唾液を用いる場合は専用の測定機器が必要となります。現在国内で診断の方法として承認されているのはPCR検査と抗原検査です。

### 【抗体検査について】

ウイルスに感染すると、ウイルスを排除するために免疫系が働いて特異的なタンパク質(抗体)を作ります。抗体は血液で調べることができ、IgM抗体とIgG抗体があります。感染の初期に上昇する抗体がIgM抗体で、初期の感染防御の主要な役割を担い短時間で消失します。遅れてIgG抗体が上昇し、その後の感染防御の役割を担い長期間存在します。現在のところ、抗体検査で過去に感染したことがあるかを判定することはできますが、感染初期を判定することは困難です。そのため、診断を目的として単独で用いることは推奨されておらず、疫学調査などで活用されることが考えられます。



しもじ内科クリニック(nico nico studio)

東区三苦3丁目2-49(福岡銀行美和台支店隣り)  
TEL: 092-605-6300